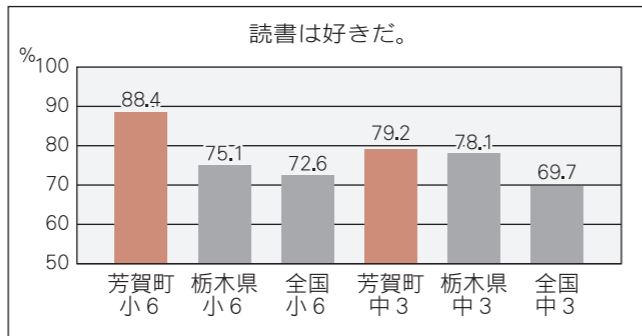
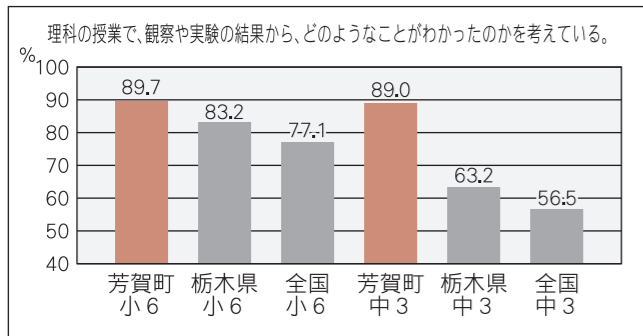
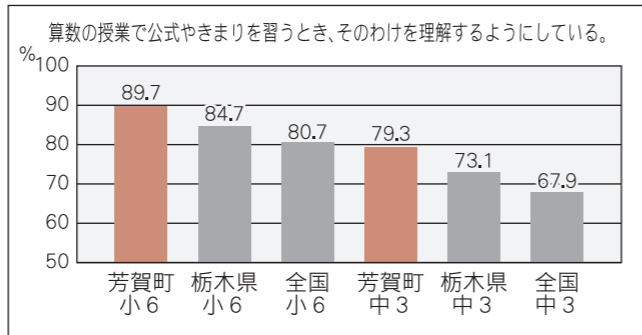
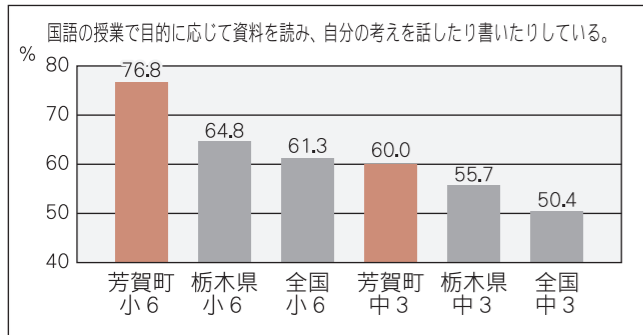
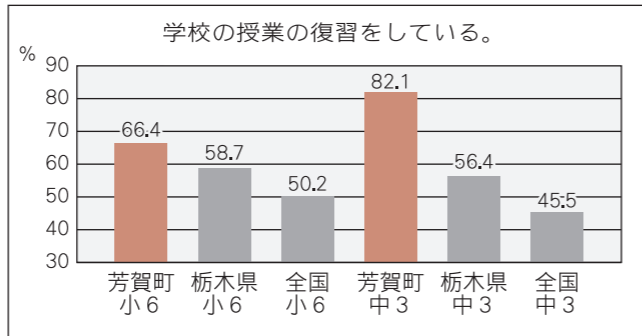
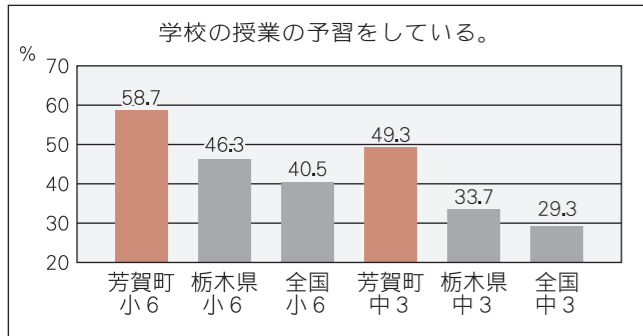




■児童・生徒質問紙から
子どもたちの学力向上を考えると、テストの成績だけではなく、学習意欲や学習環境、生活習慣の状況を把握することが大切です。そのため学力調査とともに児童・生徒質問紙により生活習慣や学習環境などについての質問をしました。こうした背景の部分は、目立ちませんが学力を向上させるためにはとても重要な要素です。

その集計結果を見ると、芳賀町の小中学生は全国・県と比較し、多くの項目で意欲的で望ましい生活を送っていることがわかりました。学習に関係するものの一部を紹介します。



文部科学省 全国学力学習状況 調査結果

こども育成課学校教育係
【☎028(677)1414】

全ての教科で全国・県平均を上回る！

今年度の全国学力・学習状況調査の集計がまとまりました。昨年度は東日本大震災の影響で中止となったため、全国の結果が公表されるのは2年ぶりです。

調査は4月17日に小学6年生と中学3年生を対象に、国語・算数(数学)・理科の3教科で実施されました。町では小学校・中学校から各1校が抽出され、小学校2校が希望参加し、町内すべての小中学校で調査を実施しました。

その結果、芳賀町の小学6年生と中学3年生の学力が高いレベルにあることがわかりました。小学校・中学校ともに多くの教科で全国の上位に位置しています。

「公表は文言により行う」という芳賀地区広域行政事務組合教育委員会教育長会議の統一見解に基づいてお知らせします。

小学校6年生の平均正答率

教科・分野	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	理科
全国平均(公立)	81.6	55.6	73.3	58.9	60.9
県平均(公立)	80.4	54.2	72.6	56.6	59.5
町平均(児童数154)	全国および県平均を上回っている	全国および県平均を良好に上回っている	全国平均を上回っており、県平均を良好に上回っている	全国および県平均を良好に上回っている	全国および県平均を良好に上回っている

■調査の結果から
今年度の全国学力・学習状況調査の結果を見ると、町の子どもたちの成績は小中学校ともに、全領域で全国・県の平均正答率を上回っています。特に活用力をみるB問題で極めて良好な結果が生まれました。

中学校3年生の平均正答率

教科・分野	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B	理科
全国平均(公立)	75.1	63.3	62.1	49.3	51.0
県平均(公立)	75.4	63.7	61.6	49.6	51.5
町平均(生徒数140)	全国および県平均を良好に上回っている	全国平均を良好に上回っており、県平均を上回っている	全国平均をやや上回っており、県平均を上回っている	全国および県平均を良好に上回っている	全国および県平均を上回っている

昨年度まではB問題に課題がみられたため、学力アップ推進会議で検討し、読解力の向上を中心に全小中学校共通に取り組む具体策を示し、取り組んできた成果であると考えています。

■各学校の取り組み

各学校では教師が実際に問題を解き、問題の傾向を分析し、正答率の低い問題を中心に、授業中に補充学習を行います。また、昨年度から次のような取り組みをしています。◇できるだけ多くの良書に親しませ、長い文にも慣れさせる。◇習った漢字はきちんと使い、主語と述語を意識して文章を書かせる(日記指導)。

◇思考過程を大切に、意見を言うときには必ず理由を言うようにさせる。

◇話をしっかり聞かせ、きちんと話すようにさせる。

◇辞書に慣れさせる。

(注)本文と表中のA・Bについて
A: 基本的・基本的な知識・技能が身につけているかどうかをみる問題
B: 基本的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題



■今後について

芳賀町教育委員会では、今後とも、学習指導助手や司書教諭助手の配置を継続し、個別・小集団指導や読書指導を充実させるなど、きめの細かい指導を行っていきます。

さらに学力と学習意欲・学習環境・生活習慣の関係についても学力アップ推進会議で分析し、より効率的な学習指導法のあり方を追求していきたいと考えています。そして子どもたちが厳しい社会を力強く生きていく上で必ず必要となる、しっかりとした学力を身につけさせてあげられるよう、学校・家庭・教育委員会が連携して支援していきたいと思います。